



# 5歳児クラス 4月 第2回 「どこでおひるねしようかな」

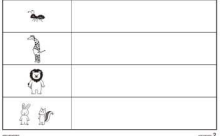
保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然の中に居る心地よさを、五感を通し絵本で体感する</li> <li>日本語の心地よいコトバやリズムを伝える</li> <li>登場人物はなぜその場所を選んだのか考える</li> </ul>	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵本</li> <li>★iPad(シアターセット)</li> <li>ペープサート (男の子)</li> </ul>	保育士の役割	
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>男の子のペープサート登場</li> <li>「皆さんこんにちは、これからお昼寝をしようと思うんだけどどこでおひるねしようかな？皆も一緒にいい場所探してくれるかな」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペープサートを持って登場</li> <li>会話をする</li> </ul>	

## がくしゅうタイム

活動①	ねらい	ことば	感覚を言葉で表現することができる		
設問		ご飯を食べたみんなは、どんな場所をお昼寝するのに選びましたか。ひんやりしているところや、木の根っこの穴などどんな感じがするか、映像（絵本）を見ながらお話ししましょう。			
こな		<ul style="list-style-type: none"> <li>なんだか、お昼寝したくなってきちゃったね</li> <li>皆がどんな所で寝たのかももう一度見てみよう</li> </ul>			教材
活動内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>映像（絵本）を見て、皆がどんな場所でどんな感じがするかお話しをする</li> <li>みんなだったらどこで寝たいか聞く</li> <li>沢山の言葉を引き出すことが課題</li> <li>「ひんやり」だけでなく、身近なものをさわってみてどんな感じがするかを体感する。例) 机の脚の部分（ひんやり）日差しのある場所（ぼかぼか）ほつべた（ふわふわ・あったかい）など</li> </ul>			保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの一員になり発言する</li> <li>言葉の出ない子にフォローする</li> </ul>
活動②	ねらい	感覚	「ひんやり」に合うものを見つけることができる		
設問		「ひんやり」の意味に相應しいものはどれですか。鉛筆で○をつけましょう。			
こな		<ul style="list-style-type: none"> <li>保「森のみんなからからお届けものですよ」</li> </ul>			教材
活動内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「ありがとう、なんだろうね、開けてみよう」「クイズが届いているよ」等でプリントを配布し名称（使い方や季節等）を確認する</li> <li>講：「それでは問題です」等で始める</li> <li>子ども達全員が○を付けられたところで、答え合わせをし、花丸やハンコ等で賞賛する</li> </ul>			P2 P2用 ★鉛筆 保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>郵便袋を届ける</li> <li>プリント・クレヨン配布</li> <li>答えを悩んでいる子のフォロー</li> <li>花丸・賞賛をする</li> </ul>

活動③		数	音（ことば）の数を数えることができる	
設問	左の部屋の生き物の名前の数だけおはじきを右の部屋に並べましょう。			教材 P3 P3用
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>「もう1枚プリントクイズあるみたいだよ、めくってみよう」</li> </ul>			
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「おきやくさんがたくさんいるね」それぞれ名称確認</li> <li>講：「なに？皆お腹が空いてるの？名前の数だけ美味しいもの欲しいんだって」</li> <li>保：「先生これどうぞ」おはじきを10個入れたお皿を渡す</li> <li>「あり」の名前の音の数は「あ」「り」で2つです、その数だけおはじきを並べる</li> <li>プリントに入る前に先生の名前などを例に出して「名前の数だけおはじきを置く」ルールを理解するのもよい</li> <li>心の中で「あ」「り」と言いながらおはじきを置く</li> <li>子ども達全員出来たら、答え合わせをし、花丸やハンコ等で賞賛する</li> </ul>			保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>プリントめくりフォロー</li> <li>おはじきを配る</li> <li>やりかたがわからない子のフォロー</li> <li>花丸・賞賛をする</li> </ul>

数子ヤレ				教材
設問				保育士の役割
活動内容	※5月からスタート			